



入学生・保護者の皆様へ

令和2年度入学生へのお祝いと歓迎の言葉

新居浜高専のキャンパスでは、いま桜の花が満開となり、例年と同じ爛漫の季節を迎えています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、4月6日に挙行を予定しておりました「令和2年度入学式」を中止することといたしました。入学式は、大きな節目となる大切な行事であり、入学生と保護者の皆様におかれましては、ご参加を心待ちにしておられたことと存じますが、事情をご賢察の上、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今年度、新居浜高専は、本科入学生208名、専攻科入学生24名、本科編入学生2名、外国人留学生4名の、合わせて238名の入学を許可いたします。新たに238名の学生を迎えられたことは、教職員一同の大いなる喜びであり、心から歓迎いたします。

入学生の皆さんは、今日、豊かな歴史文化を有する工業の都と言うにふさわしい環境で生まれた新居浜高専の一員となりました。これから始まる高専の生活に胸をときめかせ、立派な技術者になることを夢見て入学を迎えられたことと思います。新居浜高専は1962年（昭和37年）に創設された高専制度の第1期校です。5年間の教育において「知恵・行動力・信頼」を教育理念とし、「学びと体験を通して、未来を切り拓く知恵と行動力を持った信頼される技術者を育てる」ことを教育の基本方針としています。

高専制度の最大の特徴は、早い時期からの専門教育、それを支える5年間一貫教育にあります。自ら学ぶことの大切さを身に付け、知識や能力をどんどん吸収し、グループやチームでコミュニケーションを深めながら柔軟な発想で課題解決をめざします。高専における学生生活は、いわゆる受験戦争に飲み込まれることなく、じっくりと勉学に励むことができ、心身の成長にも好影響をもたらすことが期待されます。

結びに当たり、新入生の皆さんが初心を忘れることなく、充実した、有意義な高専生活を送られることを祈念いたします。

令和2年4月6日
新居浜工業高等専門学校長



八木 雅夫